

平成 27 年台風第 18 号に伴う東日本の水害における関西広域連合の支援について

平成 27 年 9 月 27 日

関西広域連合広域防災局

標記について、東日本大震災被災地域へは関西広域連合としてカウンターパートによる応援体制を継続していることから、宮城県応援担当幹事県である兵庫県から宮城県大崎市などに対し、下記の支援を行った。

1 物資支援

(1) 支援先 宮城県大崎市

(2) 支援物資

- ・毛布 1, 000 枚
- ・ブルーシート 225 枚
- ・タオル、スコップ、一輪車（丹波市提供分、浸水家屋復旧用）

(3) 実施主体 関西広域連合・兵庫県

2 人的支援

(1) 人と防災未来センター研究員の派遣

9月10日（木） 栃木県災害対策本部へ 2名

9月11日（金） 宮城県災害対策本部へ 2名

同 茨城県災害対策本部へ 2名

(2) ひょうごボランティアプラザによるボランティアの派遣

9月17日（木）から3日間、ボランティア20名を宮城県^{たいわちよう}大和町へ派遣

<参考> 関西広域連合広域防災局の体制

9月9日 台風第18号の接近に伴い広域防災局内に対策準備室を設置

9月10日 栃木県と茨城県に特別警報が発令されたことから、災害警戒本部を設置

9月11日 宮城県に特別警報が発令（栃木県と茨城県の特別警報は解除）

宮城県大崎市に水害による被害が発生していることから、応援・受援調整室を設置